

## 「新しい感情」を手に入れる

2023・5・24 校長 重枝一郎

私は、みなさんに時々「新しい感情」を手に入れてほしいと思っています。

「新しい感情」は、ヒト・モノ・コトに関わったときに生まれます。人は、ある特定の感情、ある特定の考え、ある特定の行動にとらわれると、ワンパターンの生き方・在り方になります。生き方・在り方が固定化されると、結果として、孤立したり、あるいは自分たちの集団から異質を排除する行動をとったりします。このような状態になった集団は、「病んだ集団」と言います。この最たるものが「いじめ集団」です。みなさんにはこれとは反対の生き方・在り方をしてほしいと思います。

その反対が、「健康な集団」ということです。「健康な集団」とは、みんなと仲良くでき、居場所感があり、怖くなく、学び合いができる機会に恵まれている集団のことです。

そして「健康な集団」は「新しい感情」を手に入れやすいのです。

ここで、子どもの変化について話してみます。

まず、保幼の現場で聞いた話では、「ごっこ遊びの変化」がこの10数年前くらいから顕著になったと聞きました。以前は、包丁、フライパンのようなもので物を作る「調理ごっこ」であったのが、物を並べる「配膳ごっこ」に変化しているというのです。この話を聞いて、プロセスを楽しむことより簡単に結果を得ることを求める体質になっていくのではとあってしまいます。

小学校では、3、4年生というゴールデンエイジと言われる学年がとても重要視されているそうです。それは、まわりの人との関係、つまり、クラスにどんな人がいるという他者意識が確立し始める発達段階であり、集団での授業の型はこの学年が基本となるそうです。その後、この型を基本として進化していくというのです。つまり、この3、4年生は、特に学習規律や学び方にその後に大きな影響を及ぼすので、ここで型を教えなければ「型破り」も起こりえないし、ましては「形無し」といえる基本がない状況になる恐れがあるのです。

地域とのつながりでは、昔に比べて、薄くなったと言われています。縦の関係（親、先生）、横の関係（友だち）は今でも日常的にある関係と言えます。しかし、昔で言う近所のおいちゃん、おばちゃんみたいな年上の「ななめの関係」は、少なくなったと言われます。

「ななめの関係」は、利害関係がなく、自由で個別的な関係であり、この関係は人をグッと伸ばす力を秘めています。例えば、私自身小学生の頃、親や先生、友だちからの

助言は素直に受け入れない年頃るとき、地域のソフトボールの監督の一言で行動に変化が見られたりするの**は「ななめの関係」**だったからだと思っています。また、現在は、**スクールカウンセラー**なども同様の役割となると思います。実はこの**「ななめの関係は」**少しだけ年上が一番いい影響を与えてくれるという研究結果もあります。だから、本校はとて**もいい環境である**と思います。

学校教育では、**「対話的な学び」**という学び方がキーワードとなっています。私の実感としては昔の生徒（私の学生時代）より、今の生徒の方が、話し合いは上手だと思います。ところが弱点は、話し合いながらの意思決定ができないこととされています。このこと**で思うことは**、小3、4年の頃の遊びに関係しているような気がします。昔は秘密基地づくりなど、仲間との秘密の遊びとしてよくやっていました。これは、どこに入口を作るとか、どこまで土足でいいとか、必然的に自分たちで話し合いながら意思決定していました。**自分たちで決める**ので、経験の過程で納得があります。今の遊びの代表格のゲームも、実は**自分で決める経験**をします。ただ、失敗や挫折の程度が軽いので、深い経験になりにくいところがあります。まあどちらも**自分で決める経験が含まれるから楽しい**のです。

放課後、自分たちで集合時間を決めて、場所を決めて、場所や人数に合わせた変則的なルールを決めて、よく遊んだものです。どれだけのことを自分たちで決めて遊んでいただろう。つまり、決める経験がたくさんあったということです。今は、どんなところにも指導者がいます。私の時代からするとうらやましい限りの練習環境・内容ですが、そこに大人がいる限り**100%自分たちで決めた世界にはなっていない**のです。野球で、打つのもうまい、捕るのもうまい、だが**ノックをするのは下手**、というのはなんとなくわかる話です（ノックは指導者がするから）。

みなさんには、いい経験をたくさんしてほしいと思っています。たくさん**の出会い**をしてほしいと思っています。まずは、今のクラスや部活の**チームメイト・先輩・後輩**、先生方、そして、女学院に関わる人たちと、**「たて・よこ・ななめの関係」**をたくさんつくって**「新しい感情」**を手に入れていくことを願っています。